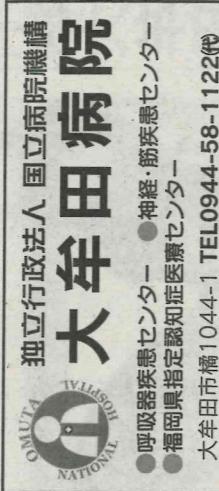


# 有田新聞

THE ARIAKE SHIMPO

リバッグや夏の帽子並ぶ 2面  
豊かに心和ますアジサイ 2面  
「ファイター」王座獲得 4面  
が百人一首で成果を披露 5面  
り花ネムノキ咲き始める 5面

2019年(令和元年)  
6月13日 木曜日



統合版



## 前向き検討と好感触

金子柳川市長が国交省へ

### 自動着陸 誘導装置を西側設置を要望

佐賀県が佐賀空港の旅客便運用時間を午前0時半まで延長する方針を示したことについて、柳川市の金子健次市長は13日、上京して国土交通省を訪問。市民から騒音などの苦情が寄せられていること、空港西側(佐賀側)に自動着陸誘導装置(ILS)設置を求める要望書を提出した。国交省からは、設置を前向きに検討する趣旨の返答があつたといふ。



岩崎次長(中央)に要望書を渡す金子市長ら

この問題では、佐賀県が空港の旅客便運用時間を2時間半延長するとして、柳川市に通告。同市と同県では騒音問題などに対応すべく、運用時間などを定めることで、その改定がないまま、同県が空港の運用を改正発芽している。既に全員も8月の夜間臨時便としてチェックを同市によると、7割近くから着陸。今回の深夜便も東側を飛行するルートが含まれ、ILSが西側に設置され、ついでないことが影響していふとみられる。この問題

地域からホタルプロジェクト

大牟田・高取小学校の吉田健次校長の5年生が進めるホタルプロジェクトの第1回会議が1日、同校で開かれた。ESD(持続可能な開発)の一環で、ホタルに特化し1年にわたる環境保全活動を実践。川や校区の清掃・調査などについてグループごとに発表し、地域や市役所からのアドバイスを受けた。

同校は高取山や長瀬川などの自然に囲まれ、ホタルの餌食スポットもある。例年、5年生は環境保全活動に取り組み、地域と連携して地域の豊かな自然を守ろうと、大牟田市高取小学校

アドバイザーは、看板や地区館の掲示板を使つたPR、新聞社への記事掲載依頼付ける。届いたはがきには、住所が分かっている人に送られる。また届けられた

ははじめ、描かれたイラストなどが新聞等で紹介する場

の藤丸敏衆議院議員も同行。航空局長宛ての要望書を、同局の岩崎俊一次長に手渡した。

金子市長は12日にコメント

を出し、「市民が日常生活に支障を来している鷗状を訴え、理解を得られた。深

く、3年内に西側へのILS設置を要望した。国交

省からは前向きに検討され

る好感触を得られた」とした

(牛島亮介)



好会のメンバーをアドバイザーに迎えた。懇なご提案しながら回答するなどして、「6年生になつたら引き継ぐことが大事。せつから時間を割き、立てた立派な計画。みんなで関

わいいただきたい」「ホタルの生態持ちは素晴らしい」と助

けた。言。児童たちが聞き入った。今後、アドバイスを生かしプロジェクトを進め、10月に2回目の会議を実施。

来年2月に学習発表を予定している。(高田裕子)

## ジャーフへ暑中見舞いを

送つた人には返事も

大牟田市は市の公式キャラクター「ジャーフ」への多くのおはがきを送つて年に続けて2回目。昨夏は「ぐださー」と呼び掛けている市内だけでなく、北は福島